

JA 営農情報

№368 令和8年 5月号

水稲用初期除草剤について

今年から新たに水稲用初期除草剤として『クラールEW』（写真左）の取扱いを始めました。

以前取扱いしていた『ピラクロンフロアブル』（写真右）と同様、代かきから田植えまで1週間以上空く場合に散布することで、その期間の雑草を抑えることができます。

※代かき～田植まで1週間空かない場合は使用できません。



さらに、藻類の発生を抑える成分である「ジメタメトリン」が配合されているため、移植直後に散布すれば初期雑草の防除に加えて藻類の発生抑制効果が期待できます。（既に発生している藻類を枯らすことはできません。）

クラールEW 登録内容

使用時期	使用量	総使用回数
植代後～移植7日 ^前 又は 移植直後～ノビエ 1.5 葉期 ただし、移植後30日まで	500mL / 10a	<u>本剤：1回</u> ブタクロール：2回以内 ジメタメトリン：2回以内
【使用上の注意】 ○移植7日前又は移植直後のどちらか1回だけ散布することができます。 ○移植前に散布する場合は、移植後の藻類の発生抑制効果はありません。 ○田植以降に散布する場合は、他の一発処理除草剤を併用してください。		

○他の水稲用除草剤との間違いに注意！

当JAで取扱いをしている水稲用除草剤に、『コメットフロアブル』『サラブレッドKAIフロアブル』があります。どちらもボトルの容器に入っているため、2種類以上を散布予定の場合は間違いに注意が必要です。

特に、『コメットフロアブル』は、『クラールEW』とボトルの色や形が非常に似ているため、散布前にラベルを必ず確認してください。



農薬の使用についてのご相談は営農経済センター（TEL:641-9050）までお問合せください。

JA 茨木市 営農経済部 指導課

ばか苗病に注意！

ばか苗病は、育苗期や本田に発生する病気で、感染した苗は通常よりも徒長して色が淡くなり、やがて枯死に至る病気です。主に病原菌に感染した種子粉を使用した場合に発病するため、健全な種粉を使用するとともに、種子消毒をしっかりと行いましょう。

なお、当JAでご購入いただいた種粉につきましても、種子消毒は行っておりませんので、各自で消毒をお願いします。



○種子消毒・・・一般的に右の2剤を混用して行います。

①テクリードCフロアブル … ばか苗病、いもち病、等

②スミチオン乳剤 … イネシンガレセンチュウ

※それぞれ防除できる病害虫が異なるため、必ず2剤を使用してください。

①



②



☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくかご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	ローン・資産・介護相談
5月	14日	——	下記店舗にて随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。
6月	——	26日	
7月	9日	——	
【実施場所】JA茨木市 本店3階 小会議室 【受付時間】午後1時～午後4時 ※定員は3名です。事前にご連絡ください。 総務課 広報ふれあい係 TEL：627-7768			●ローン・資産相談 JA茨木市 各支店 ●介護相談 介護支援センター（TEL：627-7767）



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL：641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL：641-9050